

令和5年度 地方創生関連交付金事業及び地域再生計画 効果検証結果

	事業名	地域再生計画	事業（計画）期間	事業概要・目的	重要業績評価指標（KPI）								新庄村地方創生推進委員会での意見	
					1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	累計	評価			
1	ヒメノモチで伸ばせ！雇用創出プロジェクト	ヒメノモチで伸ばせ！雇用創出プロジェクト	R4-R6	<p>1 ヒメノモチ成長産業化事業に向けた基本計画策定事業 ヒメノモチの村内での一元出荷及び需要に対する加工・販売体制の強化を目標としてライスセンターや加工場の整備や、ヒメノモチの流通体制の見直しを行うこととしている。これに当たり、今後の方向性や構想をまとめた基本計画を策定する。</p> <p>2 村内資源を活用した新規商品開発事業 ヒメノモチをはじめとする村内の資源を活用し、村内事業者主導の下、村独自の新商品の開発、改良、販売促進を実施する。</p>	①食品加工や商品販売に関する村の新規就労者数（人）	目標	0	1	2			3	1	・ミネラルウォーターの開発については、飲料水として販売するので、開発には十分慎重に検討してほしい。
					実績	0	1	—			1			
					②商品開発数（件）	目標	2	1	0			3	4	
					実績	1	2	—			3			
					③新商品の売上額（千円）	目標	0	2,100	4,500			6,600	3	
					実績	1,163	4,547	—			5,710			
2	持続可能な森づくりを目指す造林事業	持続可能な森づくりを目指す造林事業	R5-R7	<p>造林事業に必要な人材や資金を調達の上、村内の林業事業者の中に造林部門の設立し、（一社）むらづくり新庄村が金融機関やコンサルティング企業と当該事業者を引き合わせるにより、助言等をもらいながら造林事業を開始する。</p> <p>造林事業開始後は、作業を請け負う中で従事する作業員を育成し、コンサルティング企業から引き続き造林事業の助言をもらいながら体制を強化していき、作業面積や効率を向上させる。</p> <p>また、地域おこし協力隊制度を活用し、本事業で立ち上げる造林部門において、作業員として従事する人材を確保する。</p>	①新規林業従事者数（人）	目標	2	1	1			4	1	・目標値の1つである「造林部門の売上高」だけにこだわらず、再造林率も意識して事業を実施してほしい
					実績	1	—	—			1			
					②造林部門における売上額（千円）	目標	7,000	17,000	12,000			36,000	1	
					実績	9,000	—	—			9,000			
					③作業面積（ha）	目標	1	3	2			6	5	
					実績	8	—	—			8			
3	共同乾燥施設整備事業	共同乾燥施設整備事業	R5-R9	<p>新たなライスセンターの施設及び乾燥調製設備を整備し、その管理を一般社団法人新庄村農業公社が行う。</p> <p>ライスセンターを整備し、</p> <p>① 村の農業公社によるJAを介さないヒメノモチの村内流通体制を構築することで、村内ヒメノモチ農家の所得向上を図る</p> <p>② 販売元である道の駅等が、安定的かつ安価にヒメノモチを仕入れることで、ヒメノモチ加工品の生産量を伸ばし販売上の増額を目指す</p> <p>③ ①②により、村内の生産者や加工・販売業者による村内ヒメノモチ産業の自立を目指す</p>	①ヒメノモチ製品の販売売上額（増加分）（千円）	目標	10,000	5,000	5,000	2,500	2,500	20,000	5	・引き続き、ヒメノモチ農家の所得向上に努めてほしい。
					実績	38,000	—	—	—	—	38,000			
					②道の駅へのヒメノモチの出荷量（俵）	目標	200	200	200	100	100	600	1	
					実績	0	—	—	—	—	0			
					③新規就労者数（人）	目標	0	1	1	0	0	2	1	
					実績	0	—	—	—	—	0			

<評価基準> 5：100%以上達成 4：80%以上100%未満 3：60%以上80%未満 2：40%以上60%未満 1：40%未満